



あけましておめでとうございます

2022年、寅年が明けました。今号は寅年にちなんでトラをテーマに絵本館だよりをお届けしたいと思います。怖いトラもいれば、勇敢なトラ、ちょっぴり間が抜けたトラもいますよ。

☆ 食いしん坊のトラもいました ☆



『おちやのじかんにきたとら』ジュディス・カー：作 晴海耕平：訳 童話館出版

お母さんとお茶の時間を楽しもうとしていたソフィーの下に突然現れた大きなとらさん。ちゃんと「ごめんください」とご挨拶をしながら入ってくる礼儀正しさを持ったとらさんです。さて、お茶と一緒にすると、食べるは食べるはソフィーのおうちの食べ物は空っぽになってしまいます。そこへお仕事から戻ったお父さんが、ソフィーやお母さんをレストランに連れて行ってくれます。もう、お母さんもお食事の支度にはうんざりだったのかもしれないね。

☆ 知恵を使ったつもりだったけれど ☆

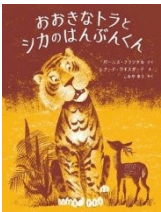


『むかしむかしとらとねこは・・・』大島英太郎：文・絵 福音館書店

むかし、トラは猫ほど獲物をとることができない動物だったそう。猫がうらやましかったトラは猫に弟子入りすることにしました。色々な技を教えてもらったトラは恩返しをすることなく・・・あとは読んでのお楽しみ。

☆ 主人公ではないけれどね ☆

『おおきなトラとシカのはんぶんくん』パーニス・フランケル：作 レナード・ワイスガード：絵 こみやゆう：訳 好学社



三匹のシカの兄弟がおりました。一番上のお兄さんは力持ち、二番目のシカは足が速い、三番目の小さなシカははんぶんくんと呼ばれ、兄さんたちにいつも守られていました。そこに大きなトラが表れるのですが、兄さんたちは怖がってしり込みするばかり。でも、はんぶんくんは勇敢に立ち向かいます。恐れをなしたトラは、間の抜けた失敗を繰り返して退散する羽目になりますよ！

☆ 年をとってもトラはトラ ☆

『トラのじゅうたんになりたかったトラ』ジェラルド・ローズ：文・絵 ふしみみさを：訳 岩波書店



年を取って、獲物がとれなくなって痩せたトラは宮殿の王様たちの生活がうらやましくてなりません。ある日、宮殿のじゅうたんが干されているのを見ると、なんとトラのじゅうたんがあるではないですか！そのじゅうたんの代わりに年老いたトラは干し竿にぶら下がります。まわりの者は気づかず、見事に宮殿内の王様のお食事の時に敷かれているじゅうたんになります。ところが王様たちの残した食べ物を食べているうちに毛並みもよくなり、太ってきます。もう本物のトラだとばれてしまう寸前、大活躍をして、見事、宮殿に住むことを許されたトラのお話です。